

昭六、四）各輯四切大コロタイプ圖版六十枚前後、各圖解説附、帝室博物館發行 定價各輯二十五圓

日本建築史圖錄

天沼俊一著

最近、一般的な美術史的知見の普及を目的として編まれた手頃な便覧的圖錄の刊行を相續いて見ることは、美術出版界に於ける注目される一傾向であるが、今また茲にこの種圖錄の一として天沼博士の新著「日本建築史圖錄」を得た。

本書は三卷を以て完結の豫定で、今次發刊された「飛鳥、奈良、平安」篇はその首をなすものであり、第二卷を鎌倉、室町時代に、第三卷は桃山、江戸時代に充てられると云ふ。

内容の廣範圍に互る圖錄の編纂に際して、その圖版に他の出版物からの複寫を含めぬことは、圖錄としての第一條件である圖版の鮮明といふ點から見ても最も望ましいことでありながら、實際に當つてはなか／＼困難なことに屬する。然るに本篇のみについて見ても四六倍版三三二頁に収められた三八五圖に及ぶ本書の圖版が略んど他の印刷物からの複寫を含まず、而もその大部分が著者の自寫寫真からのされたことは本書の持つ一つの大きな強味と云ふことが出来る。加ふるに豊富な部分圖は建造物修理の際に獲られた貴重なものが多く、これ等は著者を俟つてはじめてよく爲し得るところであらう。又常に建築物のみに止らず、建築と特に關係深い工藝品をも收載されたのは一層の理解を深める爲に適切なことであつた。部分圖に於て被寫體の側に物指を置いて法量の比例を示し、自寫寫真には必ず撮影年月日を記載された著者の周到な用意も學ぶべきである。たゞ實測圖を一切省略されたのは、或は却つて著者の意の存するところかも知れないが、これも適宜に加へられた方が圖錄の使用者にとつて便利ではなかつたであらうか。尙各圖には例へば法隆寺金堂の項に會津氏の新説を紹介される等指唆に富む要を得た解説が附してある。（杉田）

四六倍版 原色版二圖 三三二頁 昭和八年十二月 京都星野書店發行 定價七圓

美術研究所時報

寄贈新刊圖書

日本國寶全集 第五七・五八輯

文部省

田崎草雲先生の生涯 小室翠雲著

小室翠雲氏

David J. Bushell, Jr.; Evidence of Indian Occupancy in Albemarle County, Virginia (Smithsonian Miscellaneous Collection)

Smithsonian Institution; Forty-eighth Annual Report the Bureau of American Ethnology 1930—1931. Smithsonian Institution

Preussische Akademie der Künste; Ausstellung chinesische Malerei der Gegenwart. Preussische Akademie der Künste

大正大學々報 第一六・一七輯

史迹と美術 四〇

雙杉 三月

建築雜誌 五八二

思想 一四二、一四三

文學 二、三

寶雲 九

帝國工藝 八〇二

博物館研究 七、三

燕京大學圖書報 六〇一六二

Bulletin de l'École Française de l'Extrême-Orient. Tome XXXII, Fasc. I.

Gazette des Beaux-Arts, Février 1934.

Beaux-Arts, 55—60.

Bulletin of the Metropolitan Museum of Art, vol. XXIX, No. 2 & 3.

Bulletin of the Cleveland Museum of Art, 21st Year, No. 2 & 3.